

【公開文書】

臨床研究

「転移性肝癌の陽子線治療に対する成績の解析」

筑波大学附属病院放射線腫瘍科では、表記の臨床研究を実施しております。本研究に関する問い合わせ、または、研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下の通りです。

① 研究対象

2001年1月から2014年12月に当院で陽子線治療を施行された転移性肝癌の患者様

② 研究の意義、目的、方法

陽子線治療は原発性肝癌に対しては高い局所制御率を認めることは過去の多くの論文で実証されてきたが、転移性肝癌についての報告はごく少数の症例報告のみでまとまった解析はされていません。陽子線治療を含め、放射線治療は一般に局所治療であり、転移性肝癌のような多発する傾向の強いタイプの疾患にはあまり適切でないと考えられてきましたが、原発性肝癌に対する陽子線治療の臨床経験が進むにつれ、多発病変の一括照射や肝内再発病変への繰り返し照射が安全に行えることが明らかになってきました。そこで、多発する傾向の強い転移性肝癌に対しても陽子線治療で局所をコントロールすることで、生命予後を延長やQOLの維持に役立たせられるのではないかと期待が高まってきており、その有効性を解析することを目的としています。方法は、2001-2014年に当院で陽子線治療を受けられた転移性肝癌患者の生存期間や安全性を解析します。

③ 研究機関名・研究者名

筑波大学付属病院 放射線腫瘍科 櫻井英幸

④ 保有する個人情報に関する利用目的

得られたデータを解析して論文発表いたします。その際に、個人が同定する情報は使用致しません。

⑤ 保有する個人情報の開示手続

対応となった患者様、ご家族には研究内容についてお答えすることは可能です。また、本研究に診療情報の提供を希望されない方につきましても、対応いたしますので問い合わせ先にご連絡ください。

⑥ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学陽子線医学利用研究センター（対応時間：平日 9:00～17:00）

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

研究責任者：放射線腫瘍科 櫻井英幸

研究担当者：放射線腫瘍科 福光延吉

連絡先 電話：029-853-7100 FAX: 029-853-7102